

(別紙4(2))
目標達成計画

事業所名 : グループホームひのおか由紀の里
 作成日 : 平成24年3月29日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10(6)	事業所と家族との情報の共有が図れるような取り組みは行っているが、家族同士の交流や意見交換の場がない。	家族同士の意見交換や交流が図れる場を、事業所側から提案、提供しながら、家族主導での活動へとつなげていく。	主に家族参加の事業所運営についての会議を開催する。 事業所の取り組みに家族参加型の活動や季節行事を取り入れる。	12ヶ月
2	4(4)	運営推進会議にて、出席委員においては事業所の特徴や活動を知っていただく機会があり、様々な交流や活動につながっているが、さらに事業所の役割などを地域に対して発信し関係作り、相互交流に努める必要がある。	事業所の役割や地域交流の必要性など、理解を深めてもらえるよう、更なる事業所の啓発と交流のきっかけ作りができる。	多くの機関や職種、地域住民、団体に運営推進会議への参加依頼や毎月発行の公報配布など、積極的な事業所啓発を行う。	12ヶ月
3	33(12)	看取りに関する体制についての説明、同意は入居時契約時に取り交わしているが、具体的な意向や対応などの話し合いが不十分である。	高齢化や病状の悪化に伴う重度化や機能の低下など終末期に向けての話し合いを随時行い意思確認ができる。	早い段階から、ご本人、ご家族の意向を確認し、その上で事業所のできることや方針、ご家族の協力体制などを把握する。	12ヶ月
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。